

## 情報通信審議会 郵政政策部会（第11回）議事録

### 1 日時

平成27年3月20日（金） 14時00分～15時12分

### 2 場所

総務省 第3特別会議室（11階）

### 3 出席者

#### （1）委員（敬称略）

村本 孜（部会長）、井手 秀樹（部会長代理）、井野 勢津子（以上3名）

#### （2）臨時委員（敬称略）

及川 公子、関口 博正、竹内 健蔵、山田 忠史（以上4名）

#### （3）オブザーバー（敬称略）

西嶋 優（日本郵便株式会社 経営企画部 企画役）

高井 淳次（日本郵便株式会社 経営企画部）

西角 直樹（三菱総合研究所 情報通信政策研究本部 主席研究員）

#### （4）総務省

（情報流通行政局）

山崎 良志（郵便課長）、菱沼 宏之（貯金保険課長）、

川野 真稔（国際企画室長）、松岡 幸治（郵政行政総合研究官）、

竹中 恵一（郵便課課長補佐）

#### （5）事務局

蒲生 孝（情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室長）

### 4 議題

郵政事業のユニバーサルサービスコストについて（非公開）

## 開 会

(村本部会長) ただいまから情報通信審議会第11回郵政政策部会を開催いたします。

本日は委員及び臨時委員9名中、7名がご出席されておりますので、定足数を満たしております。

また、審議における質疑応答のために、日本郵便から経営企画部企画役の西嶋様、高井様、それから三菱総合研究所の西角様にご出席いただいております。

それでは、お手元の議事次第に従いまして、議事を進めてまいります。

### 郵政事業のユニバーサルサービスコストについて

(村本部会長) 本日は、郵政事業のユニバーサルサービスコストについての議論でございます。

本件につきましては、日本郵便株式会社の経営情報が含まれておりますので、当事者の権利・利益を保護する観点から、情報通信審議会議事規則第1条第4項により、議事は非公開で行います。

それでは、事務局よりご説明をお願いいたします。

(山崎郵便課長) 郵便課長の山崎でございます。本日はお忙しいところ、ありがとうございます。

それでは、資料11-1と11-2を続けて、ご説明したいと思います。資料11-1をご覧ください。本日の会合は非公開で行っています。資料11-1は、委員限りとさせていただきたいと思いますのでご承知おきください。

1ページをご覧ください。冒頭は、前回及び昨年3月の第1次中間答申の内容のおさらいでございます。1ページ目、今回算定することにしておりますユニバーサルサービスコストにつきましては、赤字地域における赤字総額をコストとするNAC法により算定をしております。

イメージでございますが、右側にありますとおり、地域別のNAC法につきましては、全国を約1000の集配郵便局のエリアに分けまして、そのエリアごとに利益・損失を出して、赤字地域の赤字額の合計額をユニバーサルサービスコストとみなす、という考え方方に立っております。役務別につきましては、右下の図にありますとおり、役務ごとの利益・損失を算出いたしまして、赤字が計上された役務の赤字額の合計値をユニバーサルサービスコストとみなす、という、2つの地域別、役務別に基づくコストが出ることになっております。

2ページをご覧ください。コストの算定手法に関してでございますが、今ご紹介したNAC法を採用するとともに、PA法、サービス義務が緩和された場合のサービス水準

の変更によって、利益水準がどのように変動するかというPA法による算定も可能となるようなモデルを構築しております。

3ページをご覧ください。若干重複いたしますが、モデル構築の要件といたしまして、NAC法によりまして、集配郵便局のエリア、約1000単位で役務別収支を算定することとしております。役務別収支は、郵便窓口業務を含む郵便の役務と郵便局窓口業務、これは郵便窓口業務・銀行窓口業務・保険窓口業務に分計されますが、それぞれについて役務別に算定することにしております。

全体の集計表のイメージが真ん中の右側辺り、エクセルの大きなシートみたいなものになりますけれども、こういう形で収益・費用・収支がプロットされるような算定作業を進めているところでございます。

4ページ目は、前回の部会でご議論、ご了承いただいた点を含んでおりますが、実際の収益費用の算定につきまして、郵便の役務については上の箱の中にはありますとおり、引き受けから配達までの作業工程を10に分割したうえで、収益・費用をそれぞれ算定することにしております。これは左下の図にありますとおり、郵便が集められてから配達されるまでの業務を考えてみると、概ねこの10工程程度に分かれるだろうということで、この10工程ごとにその収益、その工程を通過する郵便物の数ですか、あるいはその工程で費やされる人件費、物件費、費用というものは、かなり異なっておりますので、それについて地域別・役務別・工程別のデータを把握したうえで、収益につきましては、郵便物数に収入を乗じ、費用については、郵便物数にそれぞれの1通当たりの費用を乗じて、この収益費用を算定することにしております。

また実際に、この収益・費用をどの工程に分計するかというイメージ図が右下でございまして、前回の部会のなかで、発側地域、着側地域、経由地域、それぞれの別の収支の3つ方法がありますが、できる限り実態に則した把握ができるようにということで、一番下の③経由地域別収支、郵便が経由した地域にも収益と費用を配分するという方法、これに基づいて出てくる算定データを中心に、今後の検討に活かしていきましょうということで進めているものでございます。

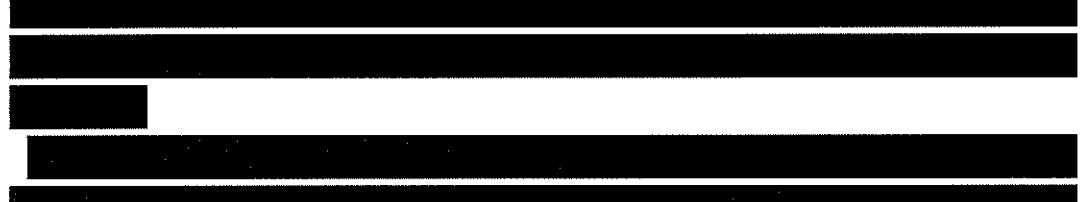
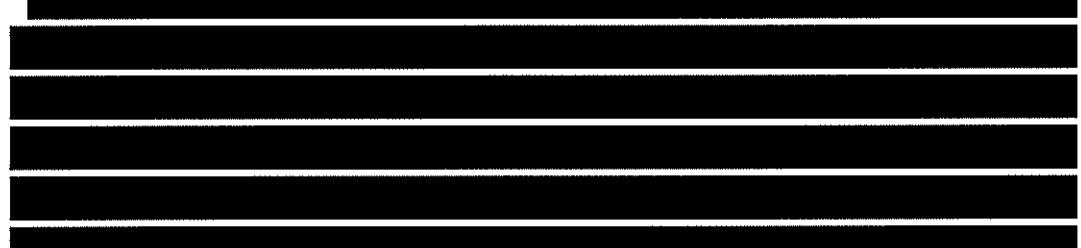
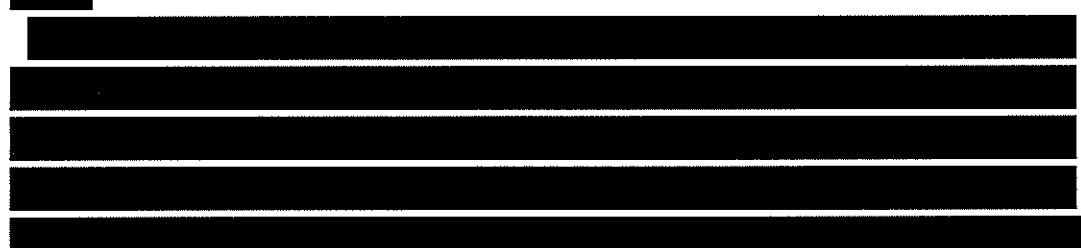
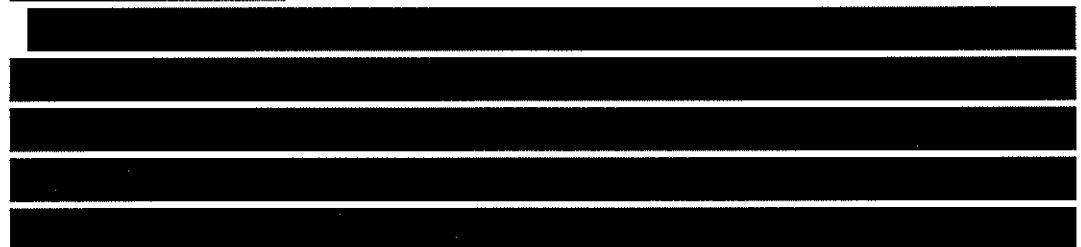
郵便局窓口業務につきましては、こうした郵便のモノの流れに相当するものが特にございませんので、収益・費用ともにすべて取扱局、今の工程で言いますと発側地域に相当しますが、そこで発生したものとして算定を行うことにしております。

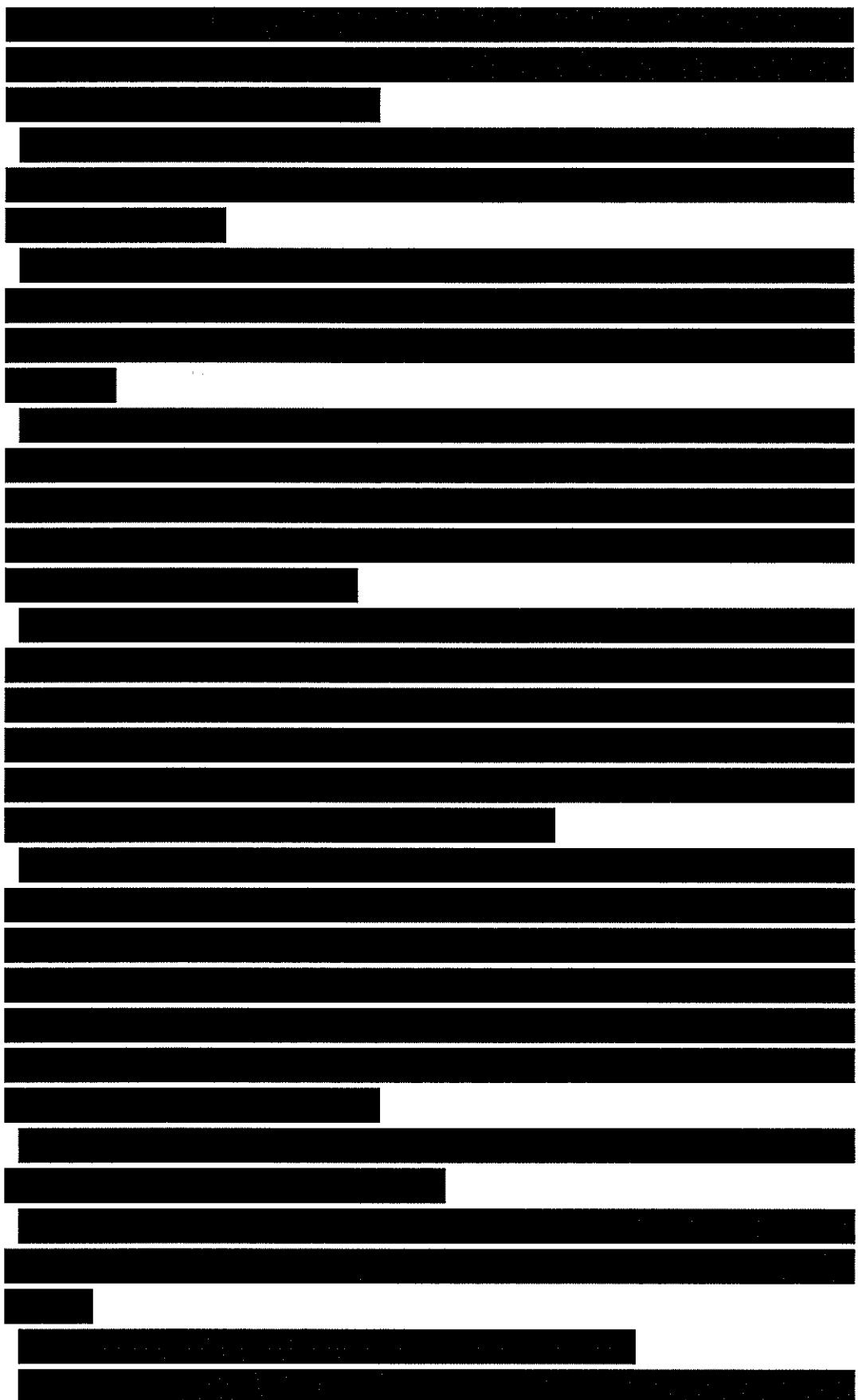
5ページをご覧ください。コストの実際の額に入る前に、このコストで出てくる額やコストの性格の位置付けにつきまして、できればこの委員の皆さんの中で共有できるものは共有しておきたいということで、この5ページの資料を出しております。

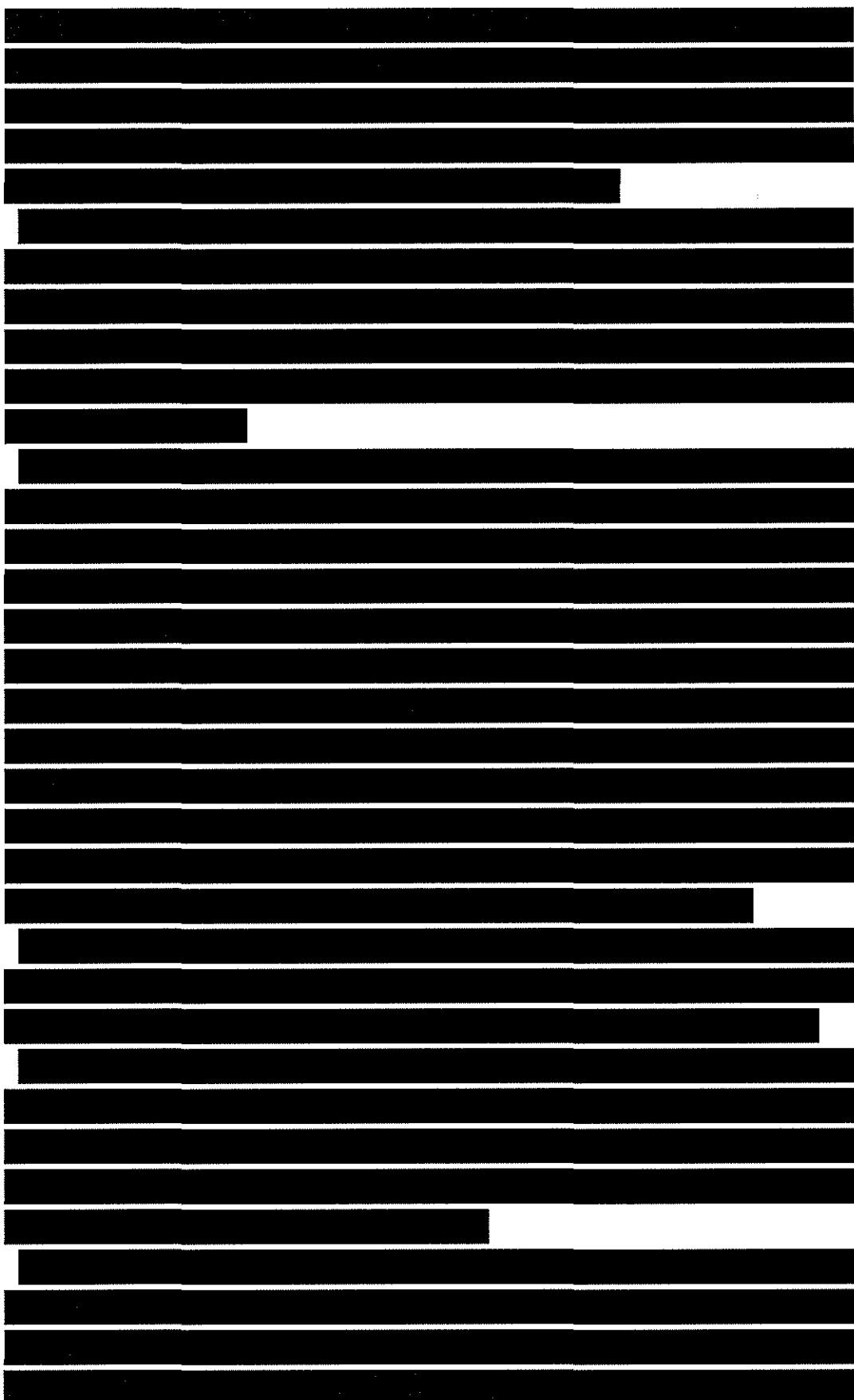
まず、コストの額の意味でございますが、先ほどご紹介したとおり、NAC法地域別のコストの額の意味としては、赤字の集配エリア郵便局の赤字額の合計値でありますので、これは何を意味するかと言いますと、仮にユニバーサルサービスの提供義務がなく

なったとすれば、日本郵便が赤字の集配郵便局エリアのサービスを停止することによって、その額を節約できる利益改善額という意味合いを持ちます。

このあとご説明しますが、その出てくるコストについて、どのような分析が可能かということが下半分でございます。まず、あまねくユニバーサルサービスの義務が課されている事業におきましては、採算地域・不採算地域に関わらず、事業活動を行うことが必須でございますので、不採算地域における事業活動を行うことに伴う損失が避けられないということが1つ、ユニバーサルサービスを課されていない事業との違いが指摘できると思います。







A series of 15 horizontal black bars of varying lengths, decreasing in size from left to right. The bars are evenly spaced and extend across the width of the frame. The lengths of the bars decrease in a regular, linear fashion from the first bar on the left to the last bar on the right.

併せて、資料11-2をご覧ください。前回2月6日に第10回会合を開催させていただきました。その後、本日3月20日が第11回で、「コストと将来試算について」ということでして、ちょっとまだ今後、4月以降の日程、あるいはどういう形で議論していくかということが確定する形でお示しできておりませんけれども、4月から6月にかけては月に1、2回程度開催いたしまして、このコストや将来試算の位置付け、できれば関係者から、部会としてのヒアリング、あるいはその後本来の審議事項でありますユニバーサルサービス確保方策の方向性についてのご議論というものを、6月の前半ぐらいまでさせていただければなと考えております。今のスケジュールでは、7月中に最終答申ということになりますので、6月の終わりあたりから取りまとめに向けた作業を行っていきたいと考えております。

前回のご説明と重複したり、少し変更したりというところがいろいろあって、分かりにくかったかもしれません。恐縮でございましたが、以上でございます。よろしくお願いいいたします。

(村本部会長) ありがとうございました。それではご説明に対して、ご質問等がございましたら、ご自由にご発言ください。

(山田臨時委員) 質問よろしいですか。

(村本部会長) はい、お願ひします。

(山田臨時委員)

(松岡郵政行政総合研究官)

(山田臨時委員)

(松岡郵政行政総合研究官)

(山田臨時委員)

(松岡郵政行政総合研究官)

(三菱總研西角主席研究員)

(山田臨時委員)

(村本部会長) どうぞ。

(山田臨時委員)

(松岡郵政行政総合研究官)

(村本部会長) 他にございますか。どうぞ、お願ひします。

(井手部会長代理) [REDACTED]

(松岡郵政行政総合研究官) [REDACTED]

(井手部会長代理) [REDACTED]

(松岡郵政行政総合研究官) [REDACTED]

(井手部会長代理) [REDACTED]

(松岡郵政行政総合研究官) [REDACTED]

(井手部会長代理) [REDACTED]

(松岡郵政行政総合研究官) [REDACTED]

(三菱総研西角主席研究員) [REDACTED]

(村本部会長) 他にいかがでしょうか。

(竹内臨時委員) よろしゅうございますか。

(村本部会長) はい、どうぞ。お願いします。

(竹内臨時委員) [REDACTED]

(松岡郵政行政総合研究官)

(三菱総研西角主席研究員)

(井手部会長代理)

(松岡郵政行政総合研究官)



(山崎郵便課長) [REDACTED]

(井野委員) 質問よろしいですか。

(村本部会長) どうぞ、お願ひします。

(井野委員) [REDACTED]

(松岡郵政行政総合研究官) [REDACTED]

(井野委員) [REDACTED]

(松岡郵政行政総合研究官) [REDACTED]

(山崎郵便課長) [REDACTED]

(村本部会長) どうぞ、お願ひします。

(関口臨時委員) [REDACTED]

(三菱総研西角主席研究員) [REDACTED]

(関口臨時委員) [REDACTED]

(三菱総研西角主席研究員) [REDACTED]

(関口臨時委員) [REDACTED]

(三菱総研西角主席研究員) [REDACTED]

(関口臨時委員) ありがとうございます。

(井野委員) もう1点、いいですか。

(村本部会長) はい、どうぞ。

(井野委員) [REDACTED]

(松岡郵政行政総合研究官) [REDACTED]

(関口臨時委員) 個別のケースについてよろしいですか。

(村本部会長) はい、どうぞ。

(関口臨時委員) [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

(松岡郵政行政総合研究官) [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

(関口臨時委員) ありがとうございます。

(竹内臨時委員) よろしくございますか。

(村本部会長) はい、お願いします。

(竹内臨時委員) [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

(松岡郵政行政総合研究官) [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

(竹内臨時委員) [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

(村本部会長) [REDACTED]

(竹内臨時委員) [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

(松岡郵政行政総合研究官) [REDACTED]

(山崎郵便課長) [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

(村本部会長) [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

(日本郵便西嶋企画役)

(村本部会長) はい、ありがとうございます。検討スケジュールにありますように、また関係者ヒアリング等でうかがう機会もあろうかと思いますので、またそのときにいろいろ教えてください。

(井手部会長代理) 1点だけいいですか。

(村本部会長) はい。

(井手部会長代理) [REDACTED]

[REDACTED]

(松岡郵政行政総合研究官) [REDACTED]

[REDACTED]

(井手部会長代理) [REDACTED]

(松岡郵政行政総合研究官) [REDACTED]

[REDACTED]

(関口臨時委員) よろしいですか。

(村本部会長) はい。どうぞ。

(関口臨時委員) [REDACTED]

[REDACTED]

(山崎郵便課長) [REDACTED]

(松岡郵政行政総合研究官) [REDACTED]

(村本部会長) [REDACTED]

## 閉　　会

(村本部会長) 本日は、以上でよろしいでしょうか。

特になければ、予定した時間を過ぎてしましましたので、閉会とさせていただきます。

今日は本当にありがとうございました。